

# I 事 業 方 針

T P P（環太平洋経済協定）への参加が検討されるなど農林水産業を取り巻く情勢が一層厳しさを増す中で、わが国農政の転換となる戸別所得補償制度が、平成22年度から“米”で実施された。また、これからの森林・林業の再生に向けての改革の方向性が検討され、「森林林業再生プラン」が策定された。

県では、「ふくいの農業・農村再生計画」に基づく「福井コシヒカリ復活プロジェクト」、「ふくいの元気な森・元気な林業戦略」に基づく「コミュニティ林業プロジェクト」、「ふくいの魚・元気な販売戦略」に基づく「これぞ！越前若狭のさかなプロジェクト」等、力強いプライドの農林水産業確立のために各施策が実施されている。

こうした中で、当センターは農林水産業の総合支援窓口として、農業経営の支援や担い手の育成、農林水産業の様々な課題に対応した研修の実施、県民の生活を支える多面的な機能を持つ森林の整備など、福井の豊かさと健康長寿の基盤となる農林水産業の振興のための各事業に積極的に取り組んでいく。

また、県が設けている「社団法人ふくい農林水産支援センター（旧林業公社）のあり方検討委員会」の検討結果を受けて、県と連携して当センターの経営改善を進めるとともに、公益法人制度改革に伴う公益認定法人への移行手続きを着実に進めるために、新林業会計基準に基づく会計処理等所要の手続きを進める。

## 1 【農業部門】

県では、「ふくいの農業・農村再生計画」のなかでふるさと農地の活用とプロ農業者の育成をプロジェクトの一つに掲げて実践すべきとして、国の施策を活用した事業を進めている。

当センターでは、規模拡大や農地の面的集積を積極的に図ろうとする認定農業者や集落営農組織等の地域の担い手に対して、市町に設置された農地集積円滑化団体と連携を図りながら農地保有合理化事業による規模拡大を推進するとともに、優良な農地を守っていく。

新規就農を希望する方には就農への情報提供を積極的に行うとともに先進農家での農業短期体験を実施するほか、農業への就職を希望する方に対しては無料職業紹介所を通じての就職斡旋を行うとともに、「農林水産業における就農支援事業」を活用し、技能習得を支援しながら農業での雇用創出に努める。

さらに、園芸部門の新規就農希望者を対象とする「ふくいアグリスクール開催事業」では、就農に必要な基礎的な講習、実習を行う入門コースと、農作物

の栽培技術、経営管理等の農業経営に必要な技術や知識を身につける実践コースを実施し、新規就農者の育成を図る。

また、より、ビジネス能力を高めた新規就農者の育成を図るために園芸プロ農業者緊急育成事業に基づく、園芸ビジネス支援員による濃密指導を行い新規就農者の経営能力の向上を図る。

新規就農者の初期の負担軽減を図るため、無利子の就農支援資金の貸付けおよび新規就農者機械等リース事業の活用を推進し、農業経営の早期安定を図る。

一方、畜産部門においては、畜産試験場等を県民が利用しやすく、また動物とのふれあいを通して憩いを提供できる施設に整備するとともに、畜産農家へ開放するための放牧場の整備および草地の更新整備等を実施する「ふれあい畜産機能強化事業」に、平成22年度から3ヵ年計画で取組んでおり、平成23年度はふれあい牧場の案内所（インフォメーション施設）等を整備し、平成24年度の開園を目指す。

## 2【林業部門】

森林は、二酸化炭素の固定による地球温暖化防止や国土保全・水源かん養など多様な公益的機能を有しており、その機能の発揮が期待される中、引き続き当センター分収林の適切な管理に努める。

多様な公益的機能の持続的な発揮と木材の付加価値の向上を図る観点から長伐期施業への転換が求められており、センター分収林においても80年を伐期とする長伐期施業に転換するため、現在、契約期間延長に積極的に取り組んでいる。

経営改善の面では、平成21・22年度において、「森林整備地域活動支援交付金事業」等を活用して、当センター分収林全体を全地球測位システム（GPS）測量を実施し電子データ化するとともにプロット調査により森林現況を調査して、センター分収林の再評価を行った結果を基に、平成23年度において施業集約化に向けた事業計画の作成に取り組む。

また、森林整備においては分収林の現況に即応した施業を推進してコストの縮減を図るとともに、平成21年度から始まった定額助成方式による「福井県緊急森林整備基金事業」を最大限活用し、公庫等からの借入金の縮減を図る。

間伐については、新植から45年目を迎える森林において搬出間伐が本格的に始まることから、モデル林整備により培った効率的な施業や低コスト木材生産のノウハウを駆使し間伐材の積極的な搬出・販売に取り組み、センター分収林の収益化に努める。

受託事業関係では、当センターが有する人材（知識・技術力等）をフルに活用し「総合グリーンセンター」、「ふくい健康の森」等の公園緑地維持管理業務、

治山事業の現場技術管理業務および治山・林道工事現場監督業務に取り組み、各主体への継続的な支援を図り、もって当センターの経営安定に資する。

### 3【研修部門】

元気な農林水産業を支える地域づくりに寄与するため、農林水産業の従事者・定年帰農者・就業志向者・地域リーダーや県民消費者等を対象に、優れた講師陣により、新技術情報や現場での技術体験・実習など座学と実学を織り交ぜ、「いつでも、どこでも、だれでも」研修に参加できるよう一体的に実施する。

また、社会的課題となっている担い手育成、環境調和、食の安全と流通、地産地消に関する研修も実施する。

これらの研修を通じて、農林水産業に対する理解者の育成にも努める。

なお、県の事務事業見直しに伴い、平成23年度は従来の有料研修に加え、新有料研修をモデル的に実施し、その結果を検証するとともに、年度中に有料化を含めた研修の見直しに取り組み、平成24年度の研修計画に反映していく。

# 事業計画

## 農業部門

### 1 農地保有合理化事業

(1) 売買事業 (単位：件、ha、千円)

区分	件数	面積	金額	備考
前年度未保有	3	0.8	6,490	
買入	67	20.4	241,000	
売渡	68	20.4	244,000	
年度未保有	2	0.8	3,490	

(2) 賃貸借事業

①一括前払事業 (単位：件、ha、千円)

区分	件数	面積	金額	備考
借入	10	6.7	5,360	
貸付	2	6.7	536	

②年々払事業 (単位：件、ha、千円)

区分	件数	面積	金額	備考
借入	28	12.3	1,230	
貸付	8	12.3	1,230	

(3) 農作業受委託料一括貸付事業

(単位：件、ha、千円)

区分	件数	面積	金額	備考
受託料貸付	2	7.6	10,000	

### 2 農業担い手確保・育成事業

(1) 青年農業者等育成センター設置事業

(単位：千円)

事業名	内容	当初計画	備考
青年農業者等育成センター設置事業	青年農業者等育成推進員の配置	12,032	全国就農相談会 (東京2回、大阪3回) 広域結婚相談員 40名 情報交換会 6地区×6回 農業短期体験 20人
	就農相談、広域結婚相談および各種情報等の収集		
	就農支援資金の貸付		
	農業短期体験研修の実施		
	農業法人等への無料職業紹介		

## (2) 新規就農者機械等リース事業

(単位：千円)

事業名	内容	当初計画	備考
新規就農者機械等リース事業	農業機械等のリース	18,000	<認定就農者対象> トラクター、ライムソワー、防除機、パイプハウス等

## (3) 就農支援資金貸付事業

(単位：千円)

項目	就農研修資金			就農準備資金	就農施設等資金	合計
	農業大学校等	先進農家等	指導研修			
貸付限度額	600/年 (50/月) (2名)	1,800/年 (150/月) (5名)	2,000/年 (1名)	2,000 (5名)	37,000	
貸付金利	無利子					
償還期間 (据置期間)	20年(9年)以内		20年(6年)以内	20年(9年)以内	12年(5年)以内	
貸付額	1,200	9,000	2,000	10,000	37,000	59,200

## (4) ふくいアグリスクール開催事業

(単位：千円)

事業名	内容	当初計画	備考
ふくいアグリスクール開催事業	園芸部門の就農を推進するため希望者に園芸の基礎知識や技術の研修を行う。	2,027	入門コース 20人 (12日間、日曜日開催) 実践コース 4人 (6ヶ月、2人×2期〔春作・秋作〕)

## 3 ふれあい畜産機能強化事業

(単位：千円)

事業名	内容	当初計画	備考
ふれあい畜産機能強化事業	畜産施設および草地の整備改良	94,248	草地整備改良 A=9.0ha (奥越高原牧場) ふれあい牧場整備一式、案内所1棟、動物舎1棟他 (畜産試験場)

## 4 受託事業

(単位：千円)

事業名	内容	当初計画	備考
農林水産業における就業支援事業 (農業関係)	研修費助成 (研修生雇用先) 仲介業務・広報	55,377	研修生雇用先12カ月×23人
園芸プロ農業者緊急育成事業 (園芸ビジネス支援員設置事業)	新規大規模農家等に対する技術・経営指導等	12,890	支援員 3人
土地改良事業等設計積算事業	設計積算業務	1,000	土地改良区 1件
合計		69,267	

## 林業部門

### 1 分収造林事業および交付金事業

(単位:ha、m、千円)

事業の種類		平成23年度当初計画①		平成22年度当初計画②		比較増減額(①-②)		
		事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費	
分収造林事業	保	除伐			25	5,700	△ 25	△ 5,700
		枝打	75	14,100	75	14,100	0	0
		保育間伐	635	144,650	602	136,700	33	7,950
		利用間伐	10	5,003	10	3,700	0	1,303
		計(延)	720	163,753	712	160,200	8	3,553
	保全	作業路開設	19,839	124,467	11,415	49,857	8,424	74,610
		計(延)	19,839	124,467	11,415	49,857	8,424	74,610
	事業	工事費計		288,220		210,057		78,163
		事業管理費		13,327		13,113		214
		小計		301,547		223,170		78,377
		管理費		1,729,639		1,724,636		5,003
		計		2,031,186		1,947,806		83,380
	交付金事業	作業路補修	40,000	59,000	210,000	50,020	△ 170,000	8,980
		境界整備等						
測量および調査				13,379	388,000	△ 13,379	△ 388,000	
事業管理費			15,192		37,542		△ 22,350	
計			74,192		475,562		△ 401,370	
合計		720ha 59,839m	2,105,378	14,091ha 221,415m	2,423,368	△ 13,371ha △ 161,576m	△ 317,990	

### 2 受託事業

(単位:ha、箇所、千円)

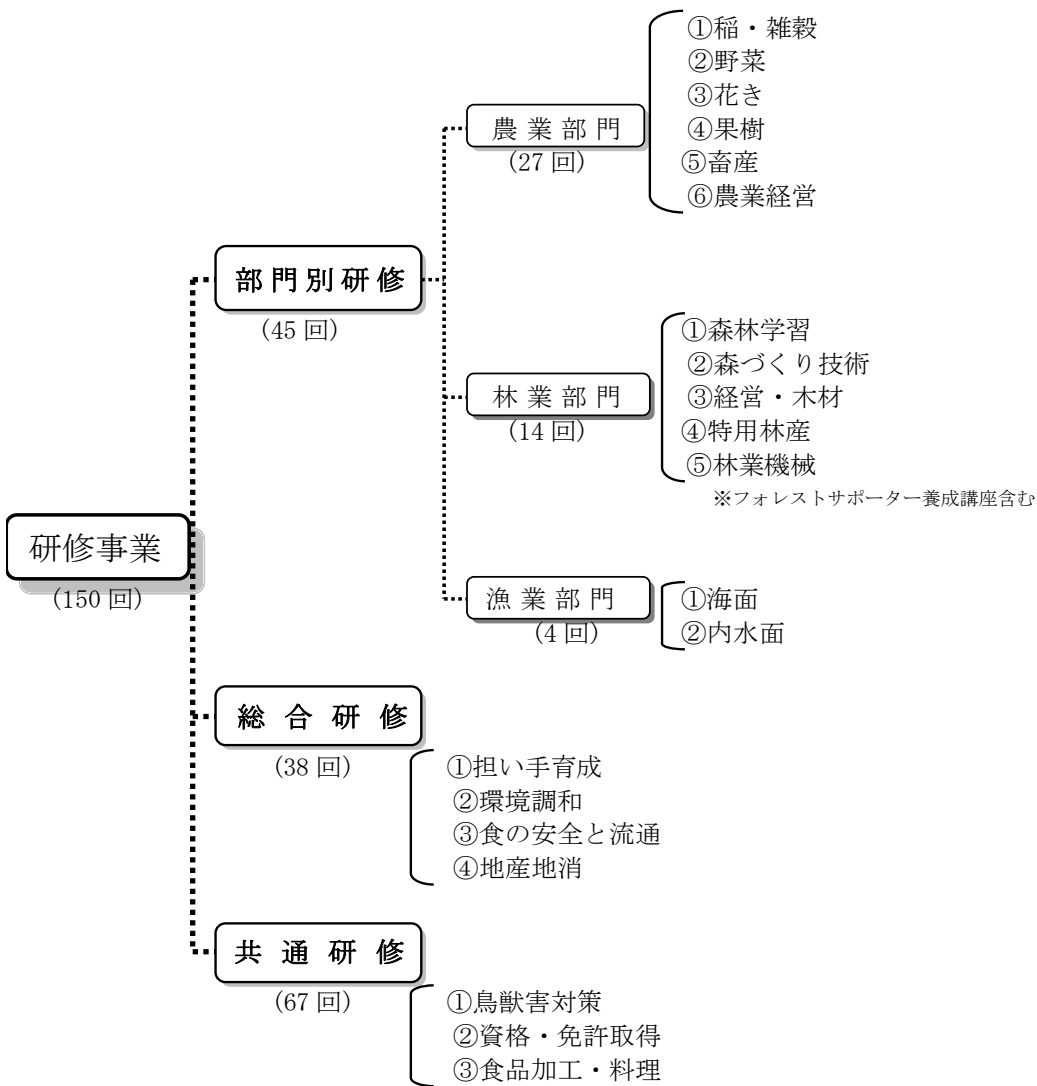
事業の種類		平成23年度当初計画①		平成22年度当初計画②		比較増減額(①-②)	
		事業量	事業費	事業量	事業費	事業量	事業費
総合グリーンセンター		21.5	36,424	21.5	36,403	0.0	21
ふくい健康の森		25.1	47,271	25.1	47,300	0.0	△ 29
県立すこやかシルバー病院		0.5	2,436	0.5	2,436	0.0	0
心身障害者コロニー		1.5	1,725	1.5	1,526	0.0	199
サンドーム福井				0.5	1,800	△ 0.5	△ 1,800
治山事業(保育業務)		292.3	8,745	524.2	11,856	△ 231.9	△ 3,111
治山・林道工事(監督業務)		65	31,843	88	29,738	△ 23	2,105
合計		340.9ha 65箇所	128,444	573.3ha 88箇所	131,059	△ 232.4ha △ 23箇所	△ 2,615

# 研修部門

## 1 研修計画

研修 体系	講座名	一般研修		有料研修		計		備 考	
		研修延数 (回)	受講延数 (人)	研修延数 (回)	受講延数 (人)	研修延数 (回)	受講延数 (人)		
部門別 研修	農業部門	稲・雑穀	6	180			6	180	
		野菜	5	150			5	150	
		花き	3	90	4	80	7	170	
		果樹	2	60	2	40	4	100	
		畜産	3	90			3	90	
		農業経営	2	60			2	60	
		細計	21	630	6	120	27	750	
	林業部門	森林学習	1	30	1	20	2	50	
		森づくり技術	3	90			3	90	
		経営・木材	5	150			5	150	
		特用林産	1	30	2	40	3	70	
		林業機械	1	30			1	30	
		細計	11	330	3	60	14	390	
漁業部	海面	3	90			3	90		
	内水面	1	30			1	30		
	細計	4	120			4	120		
小計		36	1,080	9	180	45	1,260		
総合 研修	担い 手 育 成	農業	3	90			3	90	
		林業	1	30			1	30	
		水産業	1	30			1	30	
		細計	5	150			5	150	
	環 境 調 和	農業	1	30	2	40	3	70	
		森林・林業	1	30	1	20	2	50	
		水産業	1	30			1	30	
		細計	3	90	3	60	6	150	
	食 の 安 全 と 流 通	農畜産物	2	60			2	60	
		特用林産物	1	30			1	30	
		水産物	2	60			2	60	
		細計	5	150			5	150	
	地 産 地 消	農産物	1	30	16	345	17	375	
		林産物	1	30	2	40	3	70	
		水産物	2	60			2	60	
		細計	4	120	18	385	22	505	
小計		17	510	21	445	38	955		
共通 研 修	鳥獣害対策	2	60			2	60		
	資格・免許取得			55	1,110	55	1,110		
	食品加工・料理	1	30	9	225	10	255		
	小計	3	90	64	1,335	67	1,425		
計		56	1,680	94	1,960	150	3,640		
受託等 研 修	ふくいアグリスクール開催事業(補助)			12	240	12	240		
	園芸を取り入れた直播推進事業	5	150			5	150		
	農業機械利用技能研修委託事業	4	80			4	80		
	ふくいのエコ農業推進事業 (有機・特別栽培農業者支援事業)	2	120			2	120		
	もり人づくり事業(林業教室)	20	400			20	400		
	もり人づくり事業(ジュニアフォーレスト サポーター養成研修)	4	120			4	120		
	農業用水水源地域保全対策事業(森 里体験ツアー)	2	160			2	160		
	計	37	1,030	12	240	49	1,270		
合計		93	2,710	106	2,200	199	4,910		

# 研修体系・区分



**受託研修事業** (補助事業含む)  
(49回)

- ① ふくいアグリスクール開催事業 (園芸畜産課)
- ② 園芸を取り入れた直播推進事業 (水田農業経営課)
- ③ 農業機械利用技能研修委託事業 (水田農業経営課)
- ④ ふくいのエコ農業推進事業 (有機・特別栽培農業者支援事業) (食の安全安心課)
- ⑤ もり人づくり事業 (林業教室) (県産材活用課)
- ⑥ もり人づくり事業 (ジュニアフォレストサポーター養成研修) (県産材活用課)
- ⑦ 農業用水水源地域保全対策事業 (森里体験ツアー) (土地改良事業団体連合会)

**研修総開催数 : 199回**